

富山湾を愛する会主催 海藻おしば教室実施報告

場 所	富山県射水市立下村小学校
開催日	2025年(令和7年)7月10日(木)
対象者	下村小学校 1～6年生 50名+教員10名
講 師	海藻おしば協会 高山優美講師
補 助	海藻おしば協会 白井 洋子・三橋 咲友
協 力	射水市農林水産課(担当:田中明) 射水市豊かな海を愛する会 富山湾を愛する会

【講座当日の流れ】

- 12時 下村小学校 体育館→熱中症対策のため多目的室で準備
- 13時10分から 農林水産課田中氏の司会で講座開始。学校長挨拶。高山講師紹介
高山講師による講座開始：クイズや水中映像を使った海洋環境学習
- 13時30分頃
- 13時35分 漂着海藻を使った海藻万華鏡作り
- 14時10分 振り返り 終了
- 14時30分 片付け完全撤収

【実施にあたって】

今年度の射水市では初めて海藻万華鏡教室を実施。

射水市農林水産課担当田中氏は、候補学校の下村小学校に対して海藻おしば作りと海藻万華鏡作りについて説明し「夏休み前に全校生徒に海藻万華鏡を体験させたい」という学校の要望に応え、水産多面的機能発揮事業サポート専門家である海藻おしば協会高山と調整を行い7月10日(木)の実施となった。

今回は、低学年層もいるため「海に親しむ」「海の中にも森がある」「海の森の大切さ」「自然の大切さ」が分かる事を重点におき、低学年層に合わせた内容で実施した。

当初体育館での実施を予定していたが、熱中症アラートが連日出ている状況であり空調設備が整っている多目的室で行った。

この他、全校生徒に対応するため万華鏡の組み立て方を事前に当日サポート協力していただく射水市農林水産課職員の方、射水市豊かな海を愛する会の皆さまに海藻万華鏡作りのポイント、児童へのサポートポイントなどを説明した。

【当日の様子】



会場設営終了後、協力スタッフは海藻万華鏡作りを経験



射水市農林水産課田中氏の進行により学校長挨拶、校長先生から講師紹介が行われた



高山講師は、スライド・映像・クイズで海の森の大切さを説明



食物連鎖カードで海の森からのメッセージを振り返る



万華鏡の組み立て方を説明



各グループごとに海藻万華鏡作り

【万華鏡作りの様子】



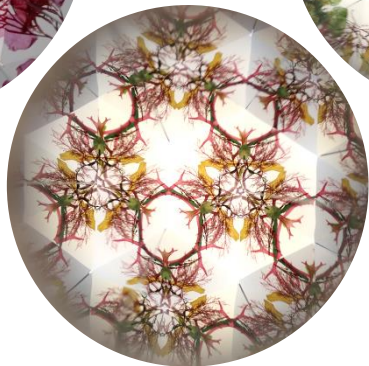
慎重に万華鏡を組み立て上手に三角形を組み立てていた



縦割り班のため低学年を手伝う高学年の姿もあった



各チームにサポートスタッフが2名以上配置できていた



昨年12月に採取させて頂いた富山湾の緑藻類・褐藻類を乾燥させた材料も使用した。自分で組み立てた万華鏡をのぞいた瞬間の児童たちの「うわ～きれい!」「海藻がこんなにきれいとは知らなかった」など歓声と驚いた笑顔はとてもまぶしかった。

万華鏡の回り紙には、下村小のキャラクターを入れた模様を使用した



振り返り感想の発表の時間は、みんなの前でお話をする。沢山の児童が発言しようと挙手をしていた



地元新聞社やテレビの取材もあり、当日夕方放送や翌日の北陸新聞に掲載されたとの事



【編集後記】

海藻おしば協会 高山が射水市を担当するのは今回で4回目となる。射水市での夏休み前の実施も海藻万華鏡講座での実施も初めてとなるが、学校の要望に沿い全校で海藻万華鏡作りを楽しむ事が出来た。海藻おしば作りも海藻万華鏡作りもそれぞれの良さがある。今回射水市での海藻万華鏡講座での実施は、初チャレンジであったが、全校生徒に海洋環境学習としての海藻万華鏡教室を行なえた。児童の感想の中でも「海の大切さがわかった。富山湾を守りたい」などの声も聞かれ、それぞれの児童が海の大切さ、海藻のきれいさ、楽しさを体験できる機会になったと考える。無事全校生徒に楽しい学びになったことは、富山湾を愛する会の皆さま、農林水産課のサポートのお陰であり、児童の笑顔あふれる時間を共有できたことに感謝します。これから迎える夏休みがより海の自然を楽しんだり、学びに繋がってくれることを願っています。豊かな富山湾がこの先の未来にも続きますように。ご依頼いただきありがとうございました。 来年も引き続きよろしくお祈りします。